

# DAW 環境「Logic」での打ち込み（ステップ入力）

- 1 新規ウィンドウからは「空のプロジェクト」を選択。
- 2 「2個」の「ソフトウェア音源」用の新規トラックをつくる。
- 3 音を鳴らすためのソフトウェア音源の設定は、目安として以下を基準とする。CapsLock キーで簡易鍵盤が表示される。

- 任意の「インスト・トラック」にソフトウェア音楽「EXS24」を設定する。（EXS24 は PCM シンセサイザー）
- 「EXS24」の音色を「01 Acoustic Piano > Classical Piano」に設定する。図2（もちろん他にも OK）

- 4 配布された譜面に応じて、図3「トランスポートバー」上で、「拍子」、「速度」の設定を行う。（3/4 拍子，♩ = 88 など）
- 5 【重要】打ち込みの際は、最初に、図4「アレンジ・ウィンドウ」で「鉛筆ツール」を選択し、2小節の「リージョン」を作成する。
- 6 リージョンをクリックし「ピアノロール画面」を表示させる。
- 7 「ピアノロール画面」では「鉛筆ツール」を選択することで、MIDI メッセージの打ち込みが可能になる。
- 8 「ピアノロール画面」では「ベロシティツール」(V のツール) によって、音の強さの設定が出来る。

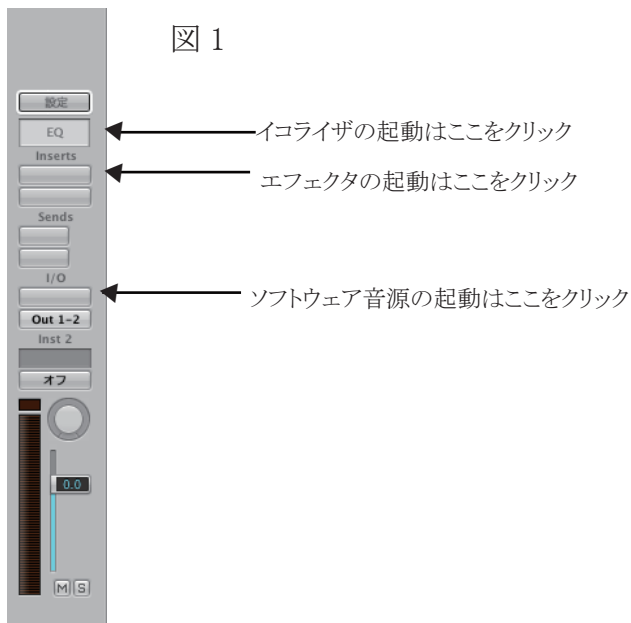


図 1

▼ 音色の設定は以下のクリックから



図 2

▼ 「拍子」と「速度」の設定は以下で



図 3

▼ 打ち込みの前に、「アレンジ・ウィンドウ」で「鉛筆ツール」によって2小節のリージョンを作成した図

緑の横帯が「リージョン」というもの。リージョンは「データの入れ物」。リージョンをダブルクリックすると「ピアノロール画面」がでる。

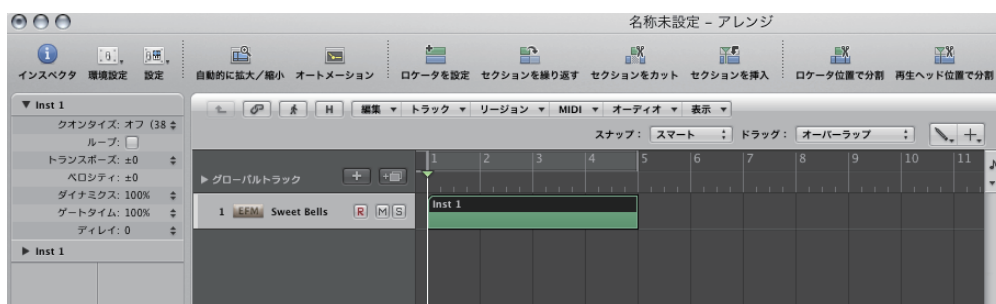


図 4

図 5

楽譜と MIDI ノートナンバーの関係

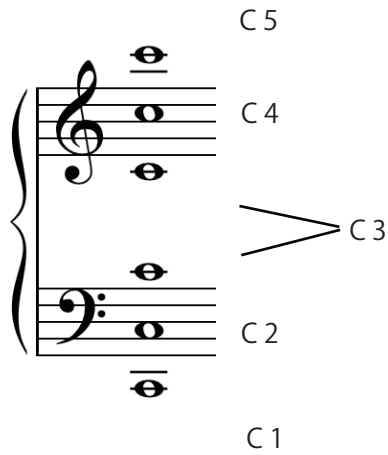


図 6

▼ ピアノロール画面で、伴奏パートを打ち込んだ様子

ツール選択

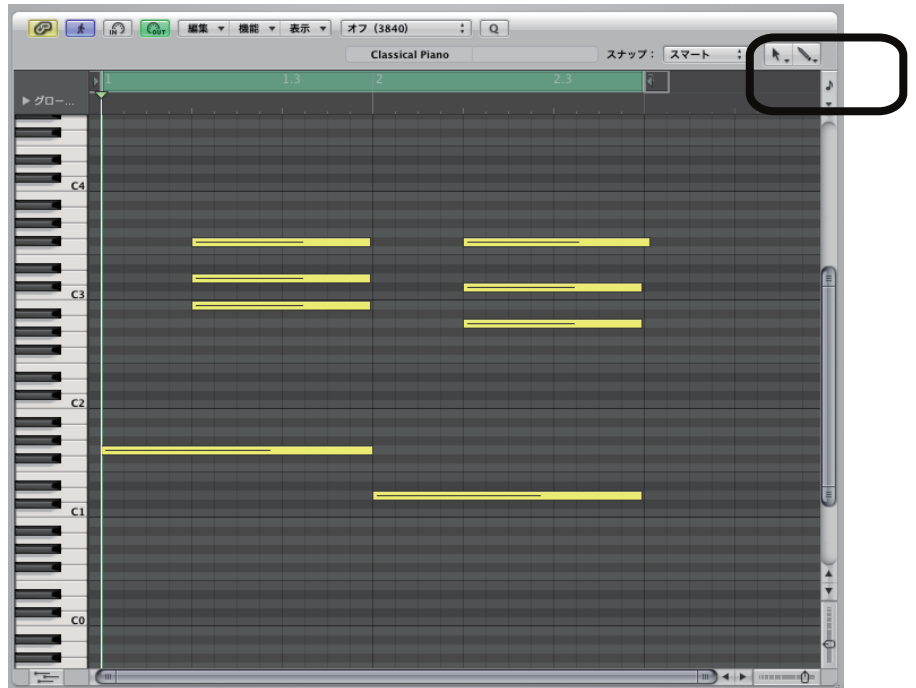


図 7

【音名】

- C ド
- D レ
- E ミ
- F ファ
- G ソ
- A ラ
- B シ

【オーディオファイルへの書き出し方-バウンスの方法】

▼ 手順1 「リピートバー」で、書き出す範囲を指定する。



▼ 手順2 [ファイルメニュー]>「バウンス」

▼ 手順3 書き出す方を設定する。



PCM (AIFF, Wave), 分解能 16bit, サンプリングレート 44100  
ファイルタイプ: インターリーブ